

出張緩和ケア研修についてのアンケート集計 < H 21.2.12 (木) >

鶴岡協立病院大会議室にて職員研修会が行われ、山岸暁美戦略研究プロジェクトマネージャーが講師として対応いたしました。アンケートの結果を集約しましたのでご報告いたします。

参加人数 109 名

アンケート協力者 93 名

1. 最初に、あなたのことをお伺いします。

◆年齢... 20代(25名) 30代(18名) 40代(25名) 50代(18名) 60代(2名) 無回答(5名)

◆性別... ①男性(8名) ②女性(84名) 無回答(1名)

◆職種... ①医師(3名) ②看護師(57名) ③介護職(21名) ④その他(12名)

◆勤務場所... ①病院(57名) ②診療所(5名) ③訪問看護ステーション(6名)
④施設(17名) ⑤その他(3名) 無回答(5名)

◆臨床経験年数... ①1年未満(4名) ②1年～5年(21名) ③6年～10年(6名)
④11年～20年(17名) ⑤21年～30年以上(19名) ⑥31年以上(2名)
無回答(24名)

◆昨年1年間に関与して亡くなったがん患者さんの数... ①0名(14名) ②1名～5名(14名)
③6名～10名(13名) ④11名～20名(4名) 無回答(48名)

◆現在の勤務場所での経験... ①1年未満(12名) ②1年～5年(47名) ③6年～10年(13名)
④11年～20年(8名) ⑤21年～30年(4名) 無回答(9名)

2. 今回の研修の内容は興味のあるものでしたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 全く興味がなかった(0名) 2. あまり興味がなかった(1名) 3. 少し興味があった(13名)
4. 興味があった(54名) 5. とても興味があった(23名) 無回答(2名)

3. 今回の研修の内容は理解できましたか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 理解できなかった(0名) 2. あまり理解できなかった(0名) 3. 少し理解できた(28名)
4. 理解できた(52名) 5. とても理解できた(11名) 無回答(2名)

4. 今回の教育の内容は緩和ケアをしていく上で役立ちますか。あてはまるものに○をつけて下さい。

1. 役に立たない(0名) 2. あまり役に立たない(1名) 3. 少し役に立つ(11名)
4. 役に立つ(56名) 5. とても役に立つ(23名) 無回答(2名)



5. 時間はどうでしたか。

1. 短かった (2名) 2. ちょうどよかった (90名) 3. 長かった (0名) 無回答 (1名)

6. 今回の研修は今後の地域連携や顔の見える関係づくりをしていく上で役立ちますか。あてはまるものを選んでください。

1. 役に立たない (0名) 2. あまり役に立たない (0名) 3. 少し役立つ (16名)
4. 役に立つ (59名) 5. とても役立つ (12名) 無回答 (6名)

7. 今後、検討すべき内容、方法についての改善点その他、なんでもご意見をお知らせください。

- ◇ありがとうございました。とても良くまとまっていて良かったです。ひとつひとつの行為は、日常的に行われているものなのですが、それを整理して確認して頂けたと感じました。
- ◇実際、業務で緩和ケアはしていませんが、せん妄がある利用者さんが増加しているので、そのような利用者さんへの対応など勉強になりました。なかなか現場で認知とせん妄を見分けることが困難なので、今度は医療側からのアプローチが重要になってくると思います。
- ◇終末期の患者様と接する機会があまりない職場ですが、お話が聞けて良かったです。介護職として役に立てることはして行きたいと思います。
- ◇短い時間でしたが、具体的な話が聞けた。介護する側のことも聞きたかった。
- ◇終末期の患者様と接することがある中で、学び得ることが多くありました。家族の気持ちを知ることができました。いかにアプローチをきちんとした体制づくりが、大切だと思います。
- ◇全く家族のいない人のせん妄に対応するのは、看護師と限定される事が多い。寄り添う事の大変さは限られた時間の中で、難しい一言に尽きる。
- ◇話をよく聞く、本人を拒否しないなどは、せん妄状態の患者との対応だけでなく、人と会話するにあたっての基本的なことだと思った。よく聞かれる質問への対応もあったのでわかり易かった。
- ◇家族への説明の時期等、スタッフ間でカンファレンスを行いながら、パンフレットを使用して行きたいと思いました。
- ◇終末期患者に接する機会が現在ないので、今後機会があつたら役立てて行きたいと思います。
- ◇最後の家族への対応の例が参考になりました。
- ◇痴呆とせん妄の違いを見極めるため、日々自分の目を育てるためにもとても良い学習の場になりました。
- ◇実際にせん妄患者と接したことはないが、家族や身近な人がそのような状態になってしまうことがあると思

う。今回のことを生かして接し、患者の気持ちを尊重させてあげたいと思います。

◇在宅に戻られた患者さんに、訪問介護で関わる事があり、大変勉強になりました。

◇がん患者以外の緩和ケアの勉強会もお願いいたします。

◇利用者の中で帰宅願望が強い方がいて、いつもどう対処すればその方の心に添えるのか、考えてしまいます。

緩和ケアの上での学習会でしたが、通所の上で気をつけるべき事も学習したいです。

◇家族への具体的なフォローの仕方を聞けて良かったです。

『第4回出張緩和ケア研修』

日 時：H21.2.12（木）午後6時～7時

場 所：鶴岡協立病院 大会議室

庄内プロジェクト事務局

